

風水害時の避難行動

水害避難の行動フローチャート

防災情報を確認しましょう。テレビ・ラジオ・防災無線など

石岡市に大雨洪水による避難情報などが出ていますか？

はい

地図を見て自宅は浸水区域内にありますか？

いいえ

はい

浸水する深さを確認しましょう

5.0m以上
3階以上
3.0~5.0m未満
2階以上
0.5~3.0m未満
0.5m未満

自宅に浸水しない階はありますか？

はい

いいえ

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にありますか？
(倒壊する危険性がある)

家屋倒壊等氾濫(氾濫流)想定区域

いいえ

はい

自宅は丈夫な建物ですか？
(木造ではない)

いいえ

はい

自宅避難 (不安な場合は自宅外へ避難)

- 浸水・倒壊の危険がない、丈夫な建物に住んでいる場合は、自宅に留まりましょう。
- 1階が浸水する場合は、浸水しない階へ移動しましょう。
- 自宅での避難に備え、備蓄品を準備しておきましょう。



親戚・知人宅等へ避難

- 浸水のおそれがない家族や親戚、知人の家、またはホテルに避難しましょう。
- 日頃から避難先の人と連絡をとっておきましょう。



避難所へ避難

- 日頃から非常用の持出品を用意しておきましょう。
- 可能な範囲で食料や水、タオルを持参しましょう。
- 避難所までは、可能であれば徒歩で移動しましょう。



避難時の注意点

避難は自らの判断で

いのちを守るため、自ら判断して
最善の行動をとりましょう！

まずは自分の住んでいる家などの想定浸水深を確認しましょう。

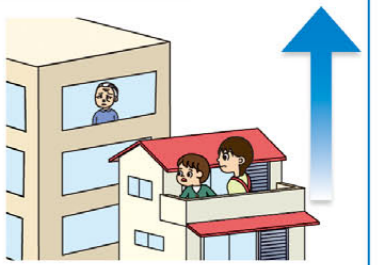
立ち退き避難 (水平避難)

自宅に災害の危険が迫っている場合は、**浸水想定区域外** (ハザードマップの白い区域) の安全な場所 (避難所等) に避難しましょう。



屋内安全確保 (垂直避難)

浸水による建物倒壊の危険がない場合は、自宅や近隣建物の2階以上に避難しましょう。



浸水害からの避難行動

水の深さによる危険度

● 側溝やマンホールが分かりづらい。



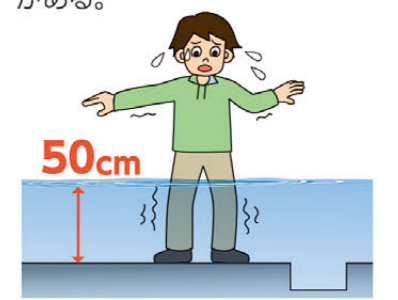
10cm

● 水の流が速い場合、転倒するおそれがある。



20cm

● 子供は転倒して流されるおそれがある。

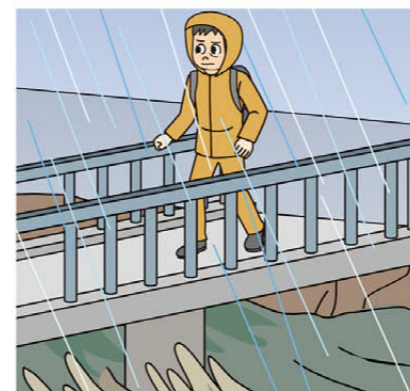


50cm

避難するときのポイント

【危険な場所に近づかない】

河川などの様子を見に行くなどの行動は控えましょう。またアンダーパスや周囲より窪んでいる場所などは冠水のおそれがあります。局地的な豪雨により小さな水路等はある可能性もあります。危険な箇所を避ける避難経路を日頃から確認しておきましょう。



【あわてずに避難】

動きやすい服装で運動靴を履いて避難するようにしましょう。避難先を確認し、家族や知人などに避難したことを連絡しておきましょう。



【車での避難は控えて】

道路冠水などにより車が水に浸かった場合、浸水深30cmを超えると、エンジンが停止し、50cmを超えると、車内に閉じ込められ車とともに流されるなど、非常に危険な状態となります。避難所へは、原則、徒歩で避難しましょう。

